

2004年度同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験問題　〔小論文〕

問題 1

次の文章は、筒井康隆氏の小説「横車の大八」（『ビタミン・日本列島七曲り（筒井康隆全集第9巻）』〔新潮社・昭和58年〕所収）からの抜粋である。講談等で有名な大岡越前守の「三方一両損」の裁きに対して、大八という人物が、「三方一両得」の理論を展開したことを話題にしている。大岡越前守の側に立って、「三方一両得」の理論に反論を加えよ。（1000字程度）

【抜粋文の掲載は、省略。】

問題 2

「2018年、法曹人口5万人」この近未来日本の可能性と<sup>かんせい</sup>陥穽について論ぜよ。（1000字程度）